

さいたま市長定例記者会見

令和4年7月21日（木曜日）

午後1時30分開会

○ 進 行 定刻になりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。
それでは、記者クラブ幹事社、NHKさん、進行よろしくお願ひいたします。

○ NHK 7月幹事社のNHKと申します。よろしくお願ひします。
それでは、本日の記者会見内容について、市長から説明をお願ひいたします。

○ 市 長 皆さん、こんにちは。
本日から市立の小中学校、特別支援学校が夏休みに入りました。コロナ禍が続く中、この夏休みを楽しみにして、お出かけの予定を立てられている方がたくさんいらっしゃると思います。ぜひ思い出に残るすてきな夏休みをお過ごしいただきたいと思います。

また一方で、7月に入りまして、新型コロナウイルスの感染者が急増しております。特に昨日は、本市で過去最高となる1,891人の感染者数を発表いたしました。

詳細については、この後の議題として発表させていただきますが、基本的な感染症対策を徹底していただくこと、また早めのワクチン接種の御検討を改めてお願ひしたいと思います。

さて、猛暑により、室内でお過ごしになる時間が増えていることと思いますが、7月の熱中症による救急搬送のうち、実に6割の方が屋内にいらしたという状況があることから、十分な注意が必要です。また、搬送される方の半数以上が65歳以上の高齢者となっております。

御本人だけでなく、周囲の方が注意を払って声がけをするなど、協力し合って熱中症を予防していただきたいと思います。

それでは、議題に入ります。

市長発表：議題1「新型コロナウイルス感染状況とワクチン接種状況について」

まず初めに、議題1：新型コロナウイルスの感染状況とワクチンの接種

状況について説明します。

まず、こちらのグラフを御覧ください。最新の本市の感染状況です。

先週1週間の新規陽性者数については7,090人となり、第6波のピークとほぼ同等の状況まで急速に進んでまいりました。

日別のカレンダーを見ましても、7月19日の発生分が1,891件と、過去最多の発生が確認されています。

新規陽性者数の週別推移を見ますと、7月に入り急激に増加し、現在は増加速度がさらに増している状況です。

今般の状況は、オミクロン株の新たな系統BA.5が主流となる、いわゆる第7波の感染拡大と認識しており、今後爆発的な拡大に発展する懸念もあり、予断を許さない状況にあると考えています。

本市では、これまでも感染拡大の都度、各種体制の強化を進めてきました。

まず検査体制については、医師会や医療機関の御協力によりまして、有症状者や濃厚接触者など、必要な方が身近な場所で速やかに検査を受けられるよう拡充を進めてきました。PCR検査を実施可能な市内医療機関は424施設に拡大しています。

また、高齢者、障害者施設に対する検査は、新規入所者及び施設従業者等を対象に4,328施設が無料で受検可能な体制を整えています。

続きまして、保健所体制については、感染者の効率的かつ一貫した情報管理が可能な支援システムHERSYSや、携帯電話のショートメッセージなどデジタル技術を積極的に活用することにより、若年層や無症状、軽症の方の健康観察を早期に開始する一方で、重症化リスクのある高齢者や基礎疾患のある方には、保健師等の専門職によるきめ細やかな対応ができる体制を構築してきました。

自宅療養者の健康観察についても、市から市内4医師会に協力要請を行い、現在では市内の協力医療機関数は202施設まで拡大し、健康観察の約1割を協力医療機関の医師に実施していただいています。

さらに、さきの6月議会で成立した補正予算により、人材派遣による保健所の人員体制の強化、また業務委託による自宅療養者への食料品配送体制の強化など、療養生活支援の充実も図ってきたところです。

今後も、市内の感染者が安心して療養生活を送ることができるよう、保健所の継続的、また安定的な運営をしっかりと行いたいと考えています。

また、今般の感染拡大を乗り越えていくためには、市のみならず市民や事業者等の皆様の御協力をいただき、一丸となって感染防止対策に取り組む必要があると考えています。

皆様にはこれまでもお願いしてきましたが、基本的な感染対策として、状況に応じたマスクの着用、3密の回避、きめ細やかな手洗い、換気が大変重要ですので、こうしたことを意識して生活していただきたいと思えます。

今後、夏本番を迎え厳しい暑さも予想されることから、エアコンの活用や小まめな水分補給などの熱中症予防にも配慮しながら、引き続き感染対策をお願いします。

次に、ワクチンの接種状況です。

本市の新型コロナワクチンの接種状況ですが、7月21日時点での3回目接種の接種率は、こちらは対象者が12歳以上になりますが、67.4%、また4回目接種の60歳以上の方の接種率は7.3%となっています。

なお、接種率には含んでいませんが、18歳以上59歳以下の基礎疾患を有する方の接種済み数は1,383人となっています。

先ほど申し上げたとおり、6月中旬以降、感染拡大が継続しています。高齢者や重症化リスクの高い方はもちろん、若い方でも感染すると重症化することがあるため、自らの健康を守るためにワクチンを接種することが大変重要であると考えています。

感染者数が急増した7月中旬以降の集団接種会場の予約枠は、3回目、4回目ともにほぼ埋まっている状況です。そのため、より多くの方に接種していただけるよう、8月については集団接種会場の予約枠を大幅に拡大して、個別接種会場と合わせて18万回以上の予約枠を用意しています。

現時点における国の方針では、公費でワクチン接種を行う期間は9月30日までとなっているため、市民の皆様には基本的な感染対策の徹底に御協力をいただくとともに、早めのワクチン接種についても御検討ください。

市長発表：議題2「さいたまシティカップを開催します」

続いて、議題2：さいたまシティカップを開催しますについて説明します。

さいたまシティカップは、海外の強豪クラブチームを招き、本市をホームタウンとする浦和レッズ、大宮アルディージャとの国際親善試合等を実施するものです。

これにより、多く市民に一流のプレーを間近で見る機会を提供するとともに、サッカーのまちさいたまを国内外に発信することを目的として、平成15年度より開催を重ねてきました。本年度の開催で12回目の大会になります。

今大会では、浦和レッズとドイツ・ブンデスリーガの強豪クラブアイントラハト・フランクフルトとの対戦が実現しました。

開催日は、本年11月16日水曜日、キックオフ時間は19時30分を予定しています。

会場は、浦和レッズのホームスタジアムである埼玉スタジアム2002、スカパーが主催するブンデスリーガ・ジャパントアールの中でこの対戦をさいたまシティカップとして開催することとなりました。

続いて、チケット販売の概要についてお知らせします。

一般販売等の前に、さいたま市民を対象とした市民優先販売を行います。申込み期間は8月5日金曜日から8月24日水曜日まで、申込み期間終了後に抽選を行い、当選者を決定します。

その後、8月26日から浦和レッズのオフィシャルチケットサイトREX TICKETでの先行販売、また9月2日からはチケットぴあでの先行販売、9月9日からその他一般販売になります。

チケットは、チケットぴあのウェブサイトから購入する方法となります。席種や料金については、決まり次第さいたま市ホームページなどでお知らせします。

次に、浦和レッズと対戦するアイントラハト・フランクフルトについて紹介します。

フランクフルトは、ドイツ・ブンデスリーガの1部に所属しており、創立は1899年と伝統あるクラブの一つです。ドイツ連邦共和国ヘッセン州フランクフルトをホームタウンとするチームです。

ホームスタジアムはバルトシュタディオンで、現在ネーミングライツによりドイチェ・バンク・パルクと呼ばれ、5万1,500人を収容する施設です。

これまでに、2006年のFIFAワールドカップや2011年のFIFA女子ワールドカップでも使用され、2011年のFIFA女子ワールドカップでは、なでしこジャパンが決勝でアメリカを破り、初優勝を飾ったスタジアムでもあります。

これまでに、ドイツ国内のカップ戦であるDFBポカールで5回の優勝経験があります。

また、中でも昨シーズンのUEFAヨーロッパリーグでは、準々決勝でFCバルセロナを破り、決勝戦でもPK戦にもつれ込む激戦を制して、優勝を遂げたことは記憶に新しいところです。

次に、フランクフルトに所属する選手ですが、まず、長谷部誠選手の名前を一番に挙げたいと思います。

長谷部選手は、プロサッカー選手としてのキャリアを浦和レッズでスタートさせ、6シーズンを浦和で過ごした中で、2006年シーズンにはレッズのJ1リーグ初優勝にも貢献しています。ドイツに渡ってから、ヴォルフスブルグで2008年から2009年シーズンのブンデスリーガで優勝に貢献し、日本代表でも長くキャプテンを務めるなど、素晴らしい実績を重ねてきた選手です。

長谷部選手のプレーを再び埼玉スタで見られるかもしれないと思うと、私も今から楽しみで仕方ありません。

そして、今年カタールで開催されるFIFAワールドカップでも活躍が期待される日本代表の鎌田大地選手も、主力選手の一人です。

フランクフルトには、このほかにも各国代表クラスの選手が多く所属しており、大変魅力的なチームです。

ただいまお話ししたように、これまでのタイトルや所属する選手を見ても、フランクフルトはサッカー大国ドイツを代表する強豪クラブであると

いえます。

現在3度目のアジア制覇を目指してAFCチャンピオンズリーグを戦っている浦和レッズとの初対戦は、サッカーファンから注目されるさいたまシティカップになるものと自負しています。

サッカーファンはもちろん、今までサッカーに興味の薄かった方も、ぜひ多くの方に埼玉スタジアムへ足を運んでいただき、一流選手のプレーを間近で見たいと思っています。

そして、このさいたまシティカップを機に、一人でも多くのサッカーファンが生まれることを期待しています。

私からの説明は以上ですが、最後にフランクフルトの長谷部誠選手から、さいたまシティカップの開催発表に当たってのコメントが届いていますので、私が代わって読ませていただきます。

「皆さん、こんにちは。長谷部誠です。

このたび、「ブンデスリーガジャパンツアー2022 powered by スカパーJSAT」として、アイントラハト・フランクフルトの来日が決まりました。

そのツアーの第1戦目が、さいたまシティカップとして浦和レッズとの対戦が埼玉スタジアムで実現することとなり、うれしく思います。

さいたま市民の皆さん、11月に埼玉スタジアム2002でお会いしましょう。」

以上が長谷部選手からのメッセージです。

市長発表：議題3「大宮駅周辺地域戦略ビジョンシンポジウム「東日本の中枢都市 大宮の可能性と未来への挑戦」を開催します」

続いて、議題3：大宮駅周辺地域戦略ビジョンシンポジウム2022「東日本の中枢都市 大宮の可能性と未来への挑戦」の開催について説明します。

まず、大宮の位置づけについてです。国が定めている「首都圏広域地方計画」において、大宮が東日本の対流拠点として位置づけられ、広域首都圏における大宮の重要性が示されています。

特に東日本各地を結ぶ結節点、そして首都圏機能のバックアップ拠点という観点は、他の都市にない圧倒的なアドバンテージと考え、東日本の中枢都市としての大宮の可能性と未来を考える上で、重要なポイントである

と考えています。

さいたま市では、この中枢都市としての価値をさらに高めていくために、交通ネットワークの強化にも注力しています。大宮駅西口では、国によるバスタプロジェクトの検討が行われています。

埼玉高速鉄道の延伸検討や首都高速道路の延伸検討、新大宮上尾道路の事業化により、都心、また東日本各地とのより一層のスムーズなアクセスを実現していきたいと考えています。

こうした中で、大宮駅周辺では、2010年に策定しました大宮駅周辺地域戦略ビジョンに基づき、おもてなしあふれる東日本の顔となるまちを目指しまして、まちづくりに取り組んでいます。

戦略ビジョンでは、大宮駅周辺地域が目指す3つの将来像を掲げています。「東日本の顔となるまち」、「おもてなしあふれるまち」、「氷川の杜、継ぐまち」です。

現在は、大宮駅グランドセントラルステーション化構想や桜木駐車場用地活用事業をはじめとした様々な都市開発計画の検討を進めており、桜木駐車場用地活用事業においては、間もなく事業者の公募を開始するなど、おもてなしあふれる東日本の顔となるまちの実現に向けて、さいたま市一丸となってまちづくりの歩みを進めています。

今回のシンポジウムの趣旨として、3つの取組を掲げています。

まず1つ目が、大宮の可能性と未来を企業の皆様に向けて発信する。

2つ目が大宮における最新の開発動向とトレンドを共有する。

3つ目が、大宮の価値をさらに高めるためにブランディングという観点から議論を深める。です。

シンポジウムの開催を通じて、多くの企業の皆様に大宮に興味を持っていただき、これからの大宮駅周辺のまちづくりへの参画を期待したいと思います。

本シンポジウムの概要、プログラム内容について紹介します。

日程、会場は、8月3日（水）15時から、ベルヴィ大宮サンパレスです。

プログラムは3部構成となっており、この後具体的に説明します。

初めに、第1部です。「東日本の中枢都市 大宮の可能性と未来への挑戦」

をテーマとして、私が講演を行います。

さらに、パネルディスカッションとして企業情報や不動産情報、まちづくりの最新トレンド等をテーマに、大宮の可能性と未来について議論していただきます。

パネルディスカッションには、有識者3名の方々に御参加いただき、私も参加します。

パネリストは、まず帝国データバンクの上西様です。調査部門において年間400件以上の調査を実施されています。中小企業から上場企業まで、数多くの経営者層の方々と面談をされている方でもあります。

現在は、帝国データバンクのビジネス多様性や経済活動の貢献につながる情報収集、発信を担う情報統括部門を率いている方です。

2人目は、シービーアールイーの岩間様です。これまでシービーアールイーの情報誌の編集に携わるとともに、オフィスビルのプロパティマネジメントに従事されている方です。

現在は、オフィス及びデータセンターに関する調査業務やレポートの執筆を担当されています。

そして3人目が、アーバンデザインセンター大宮の藤村様です。自ら建築設計事務所を主宰するとともに、東京芸術大学で教鞭を執られています。また、アーバンデザインセンター大宮の副センター長として、産官学民連携の主体として、大宮のまちづくりに御尽力いただいています。

続きまして、第2部ですが、ゲスト講演として、日本を代表するブランドプロデューサーでもあります柴田陽子事務所の柴田様に御登壇いただきます。

柴田様は、日本を代表するブランドプロデューサーとして、都市開発のプロデュース、コーポレートブランディング、店舗プロデュース、商品開発など、多岐にわたるコンサルティングをされている方でもあります。

都市開発に関するプロデュース実績は、東急プラザ渋谷の企画プロデュース、ログロード代官山の総合プロデュースなどで、新しい都市の価値づくりに挑戦し続けられています。

今回は、「“勝てる”コンセプトで、選ばれる街をつくる」をテーマに、都市の価値を高めていくことの大切さと、その魅力をより多くの人に伝え

ることの重要性などについて御教授いただき、大宮の価値をさらに高め、選ばれるまちとして成長していくために議論するきっかけとしたいと考えています。

最後に、第3部は、フリーセッションとして名刺交換や懇談の場を設けます。

登壇者の方々、またシンポジウムに御来場いただいた企業の皆様に御参加いただき、これまでの議論の共有や情報交換など、ネットワーク構築などのきっかけとなるような場としていただけると幸いです。

次に、シンポジウムの参加方法についてお知らせします。

参加対象者は、首都圏に事業所を有する企業の皆様で、会場規模の都合上、定員80名、各社2名までとさせていただきます。応募多数の場合は、事務局で調整させていただく場合があります。

参加には事前申込みが必要で、詳細はシンポジウム特設ウェブページを御覧ください。

大変貴重な機会となっておりますので、多くの企業の皆様に御参加いただきたいと思っています。

報道関係の皆様におかれましては、第1部、第2部で取材が可能となっております。参加者と同じウェブページから取材申請をしていただければと思います。

市長発表：議題4「武蔵浦和駅周辺に「(仮称)送迎保育ステーションむさしうらわ」を整備します」

続きまして、議題4：武蔵浦和駅周辺に「(仮称)送迎保育ステーションむさしうらわ」を整備しますについて説明します。

さいたま市では、働きながらも幼稚園を利用できる環境を整え、選べる子育て環境を創出するため、市内3か所目の送迎保育ステーションを武蔵浦和駅周辺に新たに整備します。

武蔵浦和駅の利用者数は1日平均約11万人と非常に多く、駅が所在する南区は市外通勤者数が市内で最も多いエリアであり、都内に通勤する共働きの子育て世帯が多いため、送迎保育ステーションの利用ニーズも高いエリアであると考えています。

また、当該エリアは、市内で最も保育需要の高い南区の中でも、用地確

保の難しさから保育所整備が特に進みにくいエリアでもあるため、既存の子育て資源を最大限活用するという観点からも、幼稚園を対象にした送迎保育ステーションを新たに整備することとしました。

実施事業者は、民設民営を基に公募を行い、市内で幼稚園の運営も行う学校法人秋本学園を選定しました。

J R武蔵浦和駅西口から徒歩約7分の場所で、令和5年4月から事業を開始します。

なお、整備に当たっては、建物改修や備品購入等に要する費用に対し上限2, 250万円の補助金を交付します。

次に、この送迎保育ステーションでは、朝は園バスが迎えに来るまで、夕方は保護者のお迎えまで、駅近くのステーションでお子様をお預かりして、共働き家庭でも幼稚園を選べるようにする取組です。

武蔵浦和のステーションの送迎対象となる幼稚園は、南区の浦和つくし幼稚園、同じく南区の浦和めぐみ幼稚園、桜区のさくら草幼稚園の3園です。いずれも、年間を通じて長時間の預かり保育を実施する子育て支援型幼稚園です。

各園の受入れ定員は、年少、年中、年長で各6名ずつ、各園18人程度の受入れを予定しています。

利用者募集のスケジュールは、7月の下旬から地域型保育事業所等を卒園予定の児童を対象に、優先申込みを実施します。また、優先申込み後も受入れ枠に余裕がある場合は、11月からの各幼稚園の新規入園児募集に合わせて、一般募集も予定しています。

今後も「子育て楽しいさいたま市」を目指して、既存の子育て資源を最大限活用しながら、安心して子育てできる環境整備に全力で取り組んでいきます。

私からは以上です。

議題に関する質問

○ NHK

幹事社のNHKです。

それでは、市長の今の発表内容について何点か質問させていただきます。

まず、コロナに関連して伺います。2点あります。

現在感染者が急増していますが、市内の医療提供体制の逼迫具合とい

いますか、余裕はいかがでしょうかというのが1点目です。

続いて、2点目ですが、第6波の際の保育園の登園自粛のお願いがありました。今回は、感染者が増えていますが、そのようなことを行う予定と
いいますか、可能性はいかがでしょうか。

○ 市 長 まず、現状の医療提供体制ですが、現在埼玉県で、フェーズ2体制の下
に、県全体で940床を確保しています。そのうち本市では146床を確
保しています。新規陽性者数の急激な増加が続いていることから、埼玉県
では病床確保に万全を期すため、7月25日からフェーズ4に移行すると
伺っています。重症者フェーズは引き続きフェーズ1です。

現在埼玉県全体での病床使用率は75.0%、そのうち重症者用の病床
使用率は11.6%となっています。現時点ではフェーズを上げることで
(対応できる見込みであり)、まだ逼迫した状況にまでは至っていません。

それから、登園自粛等については、現時点では実施することは考えてい
ません。今後また状況に応じて判断をしていくこととなります。

○ NHK もう一点、さいたまシティカップに関連してですけれども、スケジュー
ルの関係もあるかもしれませんが、浦和レッズが対戦相手として選ばれた、
特筆すべき何か理由がありましたらお願いします。

○ 市 長 私たちはこれまでさいたまシティカップをずっと継続してきました。海
外の有力なクラブチームを御招待して、今までとは違った超一流のサッカ
ープレイヤーを見ていただくことで、サッカーのまちとして発信をしたり、
あるいはサッカーファンを増やそうという中で進めてきたりしたところ
です。特に今回は、浦和レッズとも非常にゆかりの深い長谷部誠選手が所属
していることもあったと思いますし、また浦和レッズ自体が国内での観客
動員数でトップクラスのクラブチームです。そういった中でこういった形
で実現ができたと考えています。

○ NHK それでは、各社さん、市長の発表内容について質問がある方はお願いい
たします。

○ 読売新聞 読売新聞です。

武蔵浦和駅の「送迎保育ステーションむさしうらわ」についてお伺いし
たいのですが、先ほどご説明の中で、なかなか保育園の用地確保が
難しいという話もありましたが、ほかにもそういった地域があるのかなと

思うのですが、武蔵浦和が選ばれた理由というのを改めて伺いできますでしょうか。

○ 市長 先ほども申し上げましたけれども、これまで既に2か所で実施しています。1つが大宮駅、もう一つが浦和駅です。有力な駅の近くは、園庭を確保して保育園を整備することが非常に難しい環境です。その中で私たちとしては、今ある資源、子育てをするための施設をできるだけ活用していこうと考えています。私立の幼稚園が多少定員に余裕があることもあります。また、働いていても幼稚園に通わせたいと思っている方もいることから、子育て支援型幼稚園をつくっているわけですが、それと（送迎保育ステーションを）連動させることによって、子ども達によりよい環境で保育を提供できると（思っています。）武蔵浦和駅も、なかなか（保育所）用地の確保が難しいエリアですが、保育所等、子育て施設のニーズがすごく高いエリアです。その中で大宮駅、浦和駅に次いで武蔵浦和駅で実施することになりました。

○ 読売新聞 ちょっと確認ですけれども、今後送迎先の幼稚園を、例えば増やす考えというのはあるのでしょうか。

○ 市長 園バスの送迎時間なども含めて事業者と協議をしながら選定を行ったところですので、当面はこの3つの幼稚園を中心にやっていくことになると思いますが、今後この保育ステーションに対するニーズや状況を踏まえながら、増やしていくとか、やり方を変えろといったことは、その後にもまた検討していきたいと考えています。

○ 東京新聞 東京新聞です。
今の送迎保育ステーションで、先行してやっている大宮とか浦和の評判ですとか、人気があったり倍率がすごく高かったりするの、ニーズのほうはどのように捉えていらっしゃるのかを教えてください。

○ 市長 まず、具体的な数字で申し上げますと、送迎保育ステーションのおおみやについては、定員が39名ですが、7月1日現在の利用人数は5人で、利用率は12.8%です。また、送迎保育ステーションうらわは、定員24人に対して7月1日現在の利用人数は7人で、約30%です。

昨年からのスタートなので、現在の利用者は、令和4年度の入園者が主です。（利用者は、）年少、年中、年長と積み上がっていくことになるので、

来年はこれが倍になってくる（見込み）で、定員が一遍に埋まるものではないと考えています。また、一旦幼稚園あるいは保育園に入っている方々もいるので、やはり最初に入られる方々が選択するものになると思いますので、現状としてはそういう状況になります。

- 東京新聞 必ずしもその数字だと1割ちょっとしか入っていないということですが、ニーズはあるであろうと。これから積み上がって、まただんだん人気を集めていくのではないかというような見通しであるということですね。今後例えば浦和美園であるとか与野であるとか、いろいろ利用者の多い駅もありますが、そういったところにもまた広げるというのは検討されているのでしょうか。
- 市 長 現在さいたま市は2都心4副都心という言い方をしてまちづくりをしております。大宮駅とさいたま新都心、それから浦和駅、これがいわゆる2都心に該当する駅です。それから、副都心は4つ、日進・宮原地区、武蔵浦和地区、浦和美園地区、それから岩槻地区になります。基本的にそれぞれの都心、副都心の駅周辺に各1か所送迎保育ステーションを整備するという計画をつくっています。
- 東京新聞 それから、感染状況の広がりとの関係で、保健所の増員もしているということですが、今も市役所の他部署の方を動員したりとか、今どういう体制になっているのか、何人ぐらい増やしたのか。急激に増えたので、いつからどうなっているのかというのをちょっと教えてください。
- 市 長 それは、担当のほうから申し上げたいと思います。
- 事務局 7月21日現在ですが、局内の増員で19名、それから全庁からの動員で10名の応援をいただきながら、そのほか全庁の保健師であるとか民間委託の方々にお越しいただき、体制としては188人体制で今対応しているところです。
- 東京新聞 通常時だったら何人なのかということも教えてください。
- 事務局 あくまでもこれは動員のところについて全庁で10人と局内で19人、それから保健師が25人になりますので、本来の保健所の体制であれば56人で臨んでいるところです。
- 東京新聞 それから、ちょっと次々と申し訳ないのですが、さいたまシティカップの関係で、日本のプロリーグとシーズンが違うということで、なか

なか海外の強豪チームが来てくれないといった時期もあったと思うのですが、今回できているのは、ワールドカップで日程が前倒しになっているとか、そういう影響もあるのかということと、長谷部選手のコメントで、日本ツアーの初戦でみたいなこと言っていたと思うのですが、ほかの都市でもフランクフルト側から見ると試合が予定されているということなのでしょうか。

○ 市長 まず、日程についてですが、今お話のあったとおり、ワールドカップなどの影響もあって、Ｊリーグ、あるいは協会の公式戦が行われていないタイミングでないと、さいたまシティカップとしては開催できないので、その空いている時間と海外の強豪クラブチームが来られるタイミング等も合わせながら、今回11月になりました。

○ 東京新聞 フランクフルトは、ほかにもやるんでしょうか。

○ 市長 ほかに何試合かあります。

○ 東京新聞 分かりました。市としての当初予算で、たしかシティカップの予算が8,000万円ついていたと思うのですが、実現してこれで足りるのか、これがそもそも何のお金だったのか、補正予算とかをつける必要があるのか、その辺りを教えてください。

○ 市長 まず、現時点では補正予算をつける必要性は生じていません。試合の開催、そして市民向けにできるだけ安く見に行っていただくという環境づくりをしていますので、そういったことに係る費用であるとか、あるいはシティカップですので、できるだけ海外のクラブチームと市民とのいろいろな交流が実現できればということで、そういったことも併せて実施していくということです。

市民との交流については、さいたまスポーツコミッションとともに検討していきまして、フランクフルトのスケジュール等にも影響されますので、どういったことができるかについては現在調整中です。いずれにしても、ただ試合をやるというよりは、市民との交流も踏まえた形で実施したいと考えています。

○ 東京新聞 最後に、シティカップ、コロナで呼べなくなったりとか、ここ二、三年はあったんでしょうか。たまたまフランクフルトと話していたらこうなったという話なのか、どちらでしょう。

- 市長 基本的には、このシティカップについては、一番最初にオランダのフェイエノールトから始まり、海外のバルセロナだとか、ドイツのバイエルン・ミュンヘンであるとか、世界でも非常に強豪と言われるチームに来ていただいています。シティカップは子ども達にとっても大変大きな夢でもあると思っていますので、強豪チームが日本に来るタイミングをうまく見計らって、実現できるように、当初は毎年やっていたけれども、実際やれる期間が2年に1回ぐらいしかないだろうということで調整してきました。今回は今年ワールドカップが開かれるとか様々な状況の中でスケジュール調整ができたということ。今後もそういったクラブチームが日本に来て、いいタイミングでシティカップができることになれば、また継続的に実施していきたいと考えています。
- 東京新聞 コロナで延びたというわけじゃないということですね。
- 市長 そうですね。
- 東京新聞 令和2年にやっているの、普通に流れとして、2年に一遍とか、そのぐらいのスパんでいくと、順当にいつこの感じということですよ。
- 市長 もちろん令和3年については、コロナの影響があったので、なかなか海外チームが日本に来るといった状況にもならなかったのは当然背景にはあると思いますけれども、コロナが直接的な影響ではないということです。
- 埼玉新聞 埼玉新聞です。
今の確認ですけれども、2020年度、21年度は実施していないですけれども、コロナの影響ではないということよろしいですか。
- 市長 基本は、先ほども言いましたけれども、スケジュール調整が必要となりますので、海外クラブチームが来られるタイミングと日本のJリーグ、あるいは協会などの公式戦等がかぶらないタイミングを計って調整をしてきた中で、今年それが実現できたということです。2020年、21年については、その調整がつかなかったということです。
- 埼玉新聞 確認ですけれども、清水さんは当然観戦に行かれるのですよね。
- 市長 はい、もちろん。
- 埼玉新聞 長谷部さんが出る可能性があると思うんですけれども、元浦和の長谷部さんが出るフランクフルトと浦和の試合も改めて……
- 市長 先ほども言いましたけれども、長谷部選手は、プロとして初めて入った

チームが浦和レッズ、まさに浦和レッズの主力プレーヤーとしてJリーグの優勝に導いてくれた方でもあり、その後ドイツに移籍をされましたけれども、私たちにとっても非常にゆかりの深い、なじみの深い、思い入れの強い選手の一人ですので、長谷部選手が所属するフランクフルトと浦和レッズが対戦するという事は、本当にレッズサポーターの皆さんも含め、あるいはそうでない方々も含めて本当にわくわくする、そんなカップ戦になるのではないかと期待しています。私自身も非常に楽しみにしています。

○ 埼玉新聞 別件ですけれども、コロナ感染の急拡大ですけれども、各都道府県に拡大していて、知事によっては行動制限もというお話がありますけれども、今現状について、政府は要請がないから行動制限はしないとおっしゃっていますけれども、その受け止めをお願いします。

○ 市長 感染者数については、先ほども御説明しましたけれども、過去最高の人数にもなってきた状況です。しかし、もう一方で、重症者、あるいは中等症の方がまだそれほど多くはないという状況下ですので、まだ行動制限というところまで呼びかけなくても、何とか新しいライフスタイルといえますか生活様式を行っていただく中で、抑えていけるようにしていきたいと思っています。

○ 朝日新聞 朝日新聞です。
先ほど行動制限については今のところ検討されていないということなんですけれども、この夏のイベント、よく3年ぶりの開催ということで、皆さん市民が待ち望んだイベントが続けてやられているんですけれども、今回の感染拡大を受けて、やはりこの7月末から8月にかけて中止を検討するとか、控えたほうがいいんじゃないか、そういうふうなお考えで中止を検討されているようなイベントはございますか。

○ 市長 夏のお祭りについては、実を言うとコロナの感染状況（が急増する）前にそれぞれ実行委員会の中で御議論をしていただきました。結果的に多くのお祭りが中止あるいは縮小といいますか、おみこしを直接担がないで、おみこしを展示してお祭りの雰囲気味わっていただくという形に切り替えたお祭りなどもあります。幾つかのお祭りについては、実施する予定で今準備が進められています。今後感染状況がまた変化をしてきますと、また感染状況も踏まえながら、実施するお祭りについては十分配慮しながら

実施していただきたいと考えています。

○ 埼玉新聞 今感染かなり拡大していますが、当面は市主催のイベントとか催しについては静観、現状のまま続けていかれるということですね。

○ 市長 現状としては。もともとそういった感染対策もしっかり行った上で行っていく方針の中でやっていますので、そういう形で進めていく予定です。

幹事社質問:参議院議員通常選挙の結果に対する受け止め

○ NHK それでは、幹事社の代表質問に移させていただきます。

参議院選挙が7月10日に投開票がありました。その結果に対する受け止めに教えてください。

○ 市長 それでは、幹事社質問にお答えをします。

まず、参議院選挙の結果に対する受け止めですが、まず自民党については、全国に32ある1人区において28勝4敗ということで圧勝していることから、岸田政権に対して評価するという、そういった国民の声が結果として現れたのではないかと考えています。また一方、野党については、連携不足もあって候補者が乱立し、票が分散してしまったのではないかと考えています。岸田総理も14日の記者会見で、選挙結果は国民からの叱咤激励であると厳粛に受け止め、重大な責任を感じていると語っています。

現在私たちが直面しております急激な為替変動への対策、また原材料高を踏まえた総合的な経済対策、また感染者が拡大しつつある新型コロナへの対策など、国民の生活や暮らしに直結する喫緊の課題を抱えている状況ですので、岸田総理におかれましては、国民の叱咤激励に応えるためにも、今後はこれらの課題解決に向けてしっかりと取り組んでいただきたいと考えています。

○ NHK 確認ですが、市長が今回埼玉選挙区でマイクを持ったり、例えば集会に参加したりした候補者というのは、どの陣営がいますでしょうか。

○ 市長 私が選挙の協力をさせていただいたのは4人の候補者の方々です。自民党の関口昌一候補、立憲民主党の高木真理候補、公明党の西田実仁候補、そして無所属の上田清司候補、この(4)名です。

○ NHK この4人の方々ですけれども、この結果がさいたま市内、県内へのどんなふうな影響を与えるか、もしくは期待したいところはどんな点になりますでしょうか。

○ 市長 4人の方が御当選されました。特にそのうちの3名の方は現職の方が再任されたこととなりますので、引き続きさいたま市が抱えている様々な課題を解決するために、ぜひとも国とのパイプ役、連携役になっていただいで、御尽力いただきたいと思っています。また、新たに当選されました高木真理候補については、かつてさいたま市議会議員を務められた女性候補、現職の中で唯一の女性候補でもありますので、これまでの経験を踏まえながら国会で活躍していただきたいと思ひますし、またさいたま市についても様々な課題の解決に向けて引き続きお力添えをいただきたいと思ひます。

○ NHK それでは、代表質問に関連して質問がある方はお願いします。
では、そのほかに質問がある方はお願いします。

その他:安倍元総理の銃撃事件に対する受止めについて

○ 埼玉新聞 埼玉新聞です。

安倍元首相の銃撃事件の受け止めをお願いします。

○ 市長 既にコメントは発表していますが、民主主義の象徴でもある選挙期間中にこういった銃撃により命を落とされたことについて、心から御冥福をお祈り申し上げたいと思ひます。また、これまで憲政史上、最も長い間首相を務められ、たくさんの業績を残され、また国際社会の中でも様々なリーダーシップを発揮して結果を残していただいたと思ひます。また、地方自治体から見ると、地方創生に関して、様々な取組、後押しもしていただいたと思ひます。そうした安倍元総理が選挙戦の中で貴い命を失われたことは決してあってはならないことだと思ひますし、極めて怒りを禁じ得ないと思ひます。安倍元総理に対しましては、心から御冥福をお祈り申し上げたいと思ひます。

○ 埼玉新聞 何か安倍さんとのエピソードとかありますか。

○ 市長 幾つかありますが、大宮盆栽美術館の中に安倍さんの祖父に当たる岸さんゆかりの盆栽が2鉢ほどあります。以前世界盆栽大会を誘致するときに安倍総理のところにお邪魔をしてバックアップをお願いさせていただきましたが、そのときにそのゆかりの盆栽のお話をさせていただきました。そうしましたら、子どものとき確かに覚えていますよと、記憶にありますよというようなお話がありましたけれども、その後大宮盆栽美術館に来てい

ただいて、そのゆかりの盆栽を御覧いただくとともに、大宮盆栽美術館も拝見していただいて、非常に喜んでおられましたし、盆栽文化について改めて日本にとっても大変重要な文化だとおっしゃっていらっしゃったのが大変印象的でもありました。そういう意味では、さいたま市を含めて地方自治にも非常に目配りのあった方であると思っています。

その他：安倍元総理の葬送について

- 埼玉新聞 政府の国葬を9月に、明日決めるのですか、賛否ありますけれども、市長として受け止めはいかがですか。
- 市長 安倍晋三元総理は、憲政史上最長の在職期間中、多くの功績を残されたと認識しています。葬送の方法については、その功績にふさわしい方法で行われることを望んでいます。
- 埼玉新聞 それは国葬。
- 市長 国葬もそれにふさわしい一つの在り方だと思っています。
- 埼玉新聞 国葬がふさわしいということですか。
- 市長 国葬も功績にふさわしい葬送の一つであると考えています。
- NHK どうもありがとうございました。
以上をもちまして本日の記者からの質問を終了させていただきます。
- 市長 以上をもちまして市長定例記者会見を終了させていただきます。
なお、次回開催は8月2日火曜日午後1時30分からを予定しております。本日はありがとうございました。

午後 2時27分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。